

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

# PETHEMA LPA2005 【高リスク群】地固め療法①

IDR[5mg/m<sup>2</sup>/日×4日間]+Ara-C+ATRA 療法

疾患 急性前骨髄球性白血病

主治医 指導医 HBs 抗原( + - ) HBc 抗体( + - ) HCV 抗体( + - )

## スケジュール

		day1	day2	day3	day4
《注射》					
イダマイシン(イダルビシン)	5 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓
キロサイド(シタラビン)	1000 mg/m <sup>2</sup>	↓	↓	↓	↓
《内服》		day1			day15
ベサノイド(トレチノイン)	45mg/m <sup>2</sup>	↓	.....	.....	↓

- 【注意】 \* 吐気予防のため、デキサメタゾンの投与を検討する。  
 \* 1日の尿量が2000 mL以上になるように化学療法開始前日より輸液を行う。  
 \* 治療中はステロイド点眼を行う。

☆通常量より減量する際の理由☆

## (レジメン)

### day 1- 4

- ① 生食 500mL で血管確保 維持(20mL/時間)
- ② グラニセトロン注 3mg 1筒 側管静注
- ☆30分後
- ③ イダマイシン + 注射用水 適量 + 生食 100 mL 点滴静注 30分(200 mL/時間)  
 \*イダマイシンは1バイアル(5 mg)を5mLの注射用水で溶解後、生食 100 mLに混入
- ④ キロサイド + 生食 300mL 点滴静注 6時間
- ◎終了後メインの生食でルート内フラッシュ

### day 1- 15

ベサノイド 内服

PETHEMA LPA2005【高リスク群】地固め療法①  
IDR[5mg/m<sup>2</sup>/日×4日間]+Ara-C+ATRA 療法

	day 1	day 2	day 3	day 4
月日	/	/	/	/
イダマイシン 開始時刻	↓	↓	↓	↓
キロサイド 開始時刻	↓	↓	↓	↓
確認				